

平成28年度学校自己評価システムシート (県立川越特別支援学校川越たかしな分校)

目指す学校像	「自分の良さを生かし、社会の中で生き生きと活躍できる人材を育成する学校」
--------	--------------------------------------

重点目標	1 社会自立に向けた学習活動の推進と豊かなコミュニケーション力を育成する。 2 地域や高校との関係を大切にしたい開かれた学校づくりを推進する。 3 地域と連携した支援体制の確立と希望と実態に即した進路を実現させる。 4 心の育成と社会常識の習得を目指した生徒指導を実践する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価						学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 1 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況 () は昨年度	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 更なる授業力向上に向けての授業改善の充実をより一層進める必要がある。また、補習や社会体験の機会を増やす。 生徒の個性や特徴を尊重しつつ、日常生活で必要なコミュニケーション力を高める必要がある。保護者との連携を深めながら良いチームワーク集団をつくりあげていく必要がある。 	基礎学力の充実に向けた授業改善と特別活動を通してコミュニケーション能力を育成する。	①支援プランをもとに、学習指導や個別指導の工夫や指導方法の改善に取り組む ②教員相互の授業観察や研究授業を積極的に実施する ③生徒会・行事等では準備計画を生徒の自主性に趣をおく ④部活動充実のため校外活動に積極的に参加し、交流を深めるとともに保護者の理解・協力を求める	①指導内容の工夫と、支援プランが生徒・保護者の支援に有効に活用されたか。 ②他教員の授業観察ができたスキルアップに繋がったか。 ③生徒会・行事等では準備運営など生徒主導で行えたか。 ④部活動の充実及び校外の活動に積極的に参加できたか。	基礎学力の充実に向けた授業改善と生徒会活動・部活動の取組状況はよい。 ①②授業公開等の参加者が少なかったが、TTを多く取り入れることで、授業展開のノウハウは継承されてきた。 ③生徒会選挙には主権者教育を取り入れた選挙活動を行ったことで、生徒に主体性を植え付けることができた。 ④部活動の充実を図るために昨年度より10分延長させた。文化部では座れる段ボール椅子グランプリで1位を取得。 ④全国障害者スポーツ大会2名出場。1位・2位取得。(陸上・卓球)	B	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業見学は低迷。実施方法の工夫を検討していく 学習指導、個別指導については補講等で今後も継続して行う 部活動充実に向け、初雁高校との交流を視野に入れ取組む。 生徒の自主性を重んじ初雁高校との合同開催行事を模索していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場実習等で生徒が授業を受けられなかった場合、どのような手立てをしているのか。補講などで個々に補っているのであれば、継続して行ってほしい。 初雁高校との交流はよい。今後もたくさんのごことに取組んでほしい どのような部活に参加できるのか多くの部活に参加できるといいですね。
2	<ul style="list-style-type: none"> 分校の魅力をさらに中学校や地域に広めるために、学校説明会や体験入学・入試説明会を充実させる必要がある。 HP・広報誌・学校案内等による情報発信の強化をする。 	分校とは何かを積極的に発信し魅力の推進を図る。	①学校公開や体験入学、入試説明会を充実させる ②HPのこまめな更新と学校案内等の情報誌の活用を充実させる	①②分校の魅力を校外に積極的に発信し、分校教育活動の理解が地域や中学校に浸透したか。	分校への理解度の浸透強化 ①学校公開・体験入学の参加者数359名(383名)体験入学1回台風で中止。 ②HPに学校行事や日々の授業の様子などをこまめに更新した。	B	<ul style="list-style-type: none"> 体験入学実施日の見直しを図ると共に職員の協力体制の構築を進める。 学校説明会の日程等の調整が必要である 食品加工班による連携は継続していく。 ビルメンや農園芸等初雁高校との授業連携は、学期の早い段階で計画を練り進められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献活動や地域の保育園等にボランティアで行くのもいいですね。 地域の小・中との連携もあるといいですね。 初雁高校との授業の交流はあるのですか。先ほど生徒からの要望がはあったようですから、次年度検討してほしい。パン販売等も回数が増えるといいですね。
	川越初雁高校との行事の合同開催をより検討しながら交流会の強化する。	川越初雁高校との生徒・教員交流をより活性化させる	①合同行事と部活動交流、生徒会交流を活性化させる ②初雁高校との協議会を活性化させ、教員・PTA交流を積極的に行う ③ビルメンテナンス授業等合同授業を積極的に行う	①②③川越初雁高校との生徒・教員交流が活性化し、ノーマライゼーション教育の推進が広まったか。	川越初雁高校との交流の活性化 ①初雁高校の運動部に分校生の一部が参加 ①製作したパンを初雁高校生と職員に試食品として提供して交流を深めた。 ③ビルメンテナンス授業を初雁高校に公開し、来年度の取組について提案した。 *保護者アンケート合同開催について→100%満足	A	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導では、企業内容を誰でも検索できるようにシステムの構築に取り組む。 企業向け学校公開や保護者向け説明会を今後も充実させる。 成人を祝う会は、盛大に執り行うことができたか。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の視点にたった自立活動の充実を進める。 保護者・企業や地域の支援機関との連携を一層進めていく必要がある。 成人を祝う会の位置づけを明確にし、進路指導部主体で進めていく必要がある。 	組織的な進路指導と担任・担任外との共通理解をもって進路指導にあたる	①キャリア教育を見据えて各教科との連携を深めていく ②進路の手引きを有効活用して保護者・全教員の共通理解のもと進める ③企業、支援機関と連携を強化し、川越市外の地区の新規の企業開拓を図る ④教務部・PTA役員と連携して進路指導部が当たる	①自己理解及び将来の生活を考えられるキャリア教育の推進ができたか。 ②進路の手引きの活用により、教職員の共通理解ができたか。 ③実りある現場実習と進路実現ができたか。 ④成人を祝う会が進路部主体で行われたか。	組織的な進路指導体制と企業との連携を強化することができた。 ①②進路の手引きや進路講演会を実施することで、保護者や教職員に及び生徒に共通理解を深めることができた。 ③22新企業を開拓することができ、生徒の適性に合った現場実習体験ができた。 ④成人を祝う会を2月上旬に、進路指導部主導型にして実施することになった *保護者アンケート→進路指導に満足95%	A	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導では、企業内容を誰でも検索できるようにシステムの構築に取り組む。 企業向け学校公開や保護者向け説明会を今後も充実させる。 成人を祝う会は、盛大に執り行うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新企業を開拓していただけることは有難い。 今までに現場実習等を行った企業を公開してほしい。保護者はどのような企業と関わり合いがあるのかがわかるとうれしい。保護者会や進路講演会等で配布してほしい 企業内容が検索できるシステムは生徒も検索できるのか。
4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を言葉遣いやマナー、問題行動など更なる生徒の規範意識の向上を組織的に図る必要がある。 こころの健康についてカウンセラー・教員・保護者との連携を強化し、教育相談体制の充実を図る必要がある。 災害時の安全指導と校内安全計画の意識を充実させる必要がある。 	規律ある生活態度と豊かな心の育成を図る	①挨拶、遅刻、身だしなみ、私語の指導を全教員の共通理解のもと組織的に行う ②いじめ防止アンケートや人権教育の研究授業、SCによる生徒個別のカウンセリングを充実させる ③保健指導、相談活動の充実を図り、活動内容を保護者へ周知し連携を強化する ④避難訓練や安全点検を行う	①挨拶・身だしなみ、私語は減少したか。 ②いじめ問題、人権教育などSCとの連携による生徒支援ができたか ③保健指導・相談体制の確立が保護者へ周知され、連携がふかまったか。 ④日頃から災害意識をもって対応・安全点検ができたか	規律ある生活態度と心の育成 ①学年が上がるごとに挨拶は良くできていないが、成長過程でのトラブルは学年を追うごとになくなってきた ③保健指導・SCは有効活用されているが、まだまだ足りない。 ④安全点検は月ごとに実施できた。避難訓練は、初雁高校との合同で年2回実施し、危険箇所等も把握することができた。来年度に向けて課題見えた。 *保護者アンケート生徒指導・CC推進結果→95%	B	<ul style="list-style-type: none"> 早い段階から規範意識の向上を図る必要がある。 新駅開業に当たり、通学路の見直しをする必要がある。 生徒相談や保護者相談などSCやCCの活用が今後も必要とされるため、周知の徹底を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の感性を磨かせることが大切。どのように向き合うかが大切だと思います。 生徒の人格を尊重した呼び方で呼び合うのがよいですね。 保護者もSC・CCを利用できるのは有難いと思いますので、ぜひ保護者会でもアナンスしてほしい。

